

平成18年度関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会山梨大会
交流広場実施要項

第1.趣旨

昨年11月に表面化した構造偽装事件に端を発し、建築業界に対する不信感が全国に蔓延している。この問題は一人の建築士にとどまらず、その後も複数の建築士に疑惑の目が向けられ始めている。

建築に携わるものから見れば、一部の例外的な建築士の行動であっても、社会から見れば正に建築士そのものの存在意義が疑われている。この不信感は、昨今騒がれ始めたことではなく、建築が建築物として形をなす上で、技術者のモラルの欠如や技術力不足によって発生する「手抜き」「欠陥」という事象となり、社会問題として幾度となく取り上げられてきた。

しかし、残念ながら効果的な対策をとることの難しい問題であり、全ては我々建築士一人一人のモラル及び技術力の維持向上に委ねられている。

今こそ、自分たちの足元をしっかりと固め、消費者からの信頼を取り戻さなければならない。その為にもこの「交流広場」を活発な意見交換の場として利用してもらい、この危機的状況を打破するきっかけとしてもらえれば幸いである。

第2.内容

自由参加による自由な意見交換の場とする。

意見交換のテーマ 「社会的に信頼される建築士を目指して」